



1  
2 【キャッチ】

3 **「キンドル」を囲んで**

4  
5 【タイトル】

6 **本の電子化で読書や**  
7 **思考や出版はどうなるの？**

8  
9 【リード】

10 発売直後からブレイクとはいかなかった「キンドル」だが、関係者は日々その可能性を探っている。編集者・著者として長年にわたり電子書籍を見守っている仲俣暁生氏、出版社社長として書籍の電子化を進める沢辺 均（【ルビ】 きん）氏、ITコンサルティング会社社長として、また書評家・著者としてキンドル発売を静観する橋本大也氏が、本の電子化で変わる読書習慣、思考の仕方、出版のあり方を語る。

15  
16 【小見出し】

17 **大量の本を手元に持つと**  
18 **最後まで読む本が減る**

19  
20 【本文】

21 **沢辺**：昨日クリス・アンダーソンの『

22 『フリー』を読んでいて、これキンドル  
23 で読めたらいいなと思ったね。僕はひ  
24 っくり返って本を読むのが好きなんだ  
25 けど、あの本は、束（【ルビ】つか）  
26 を出すために分厚い紙を使ってるでし  
27 よ。そのこともあって、開きが悪い。  
28 そしてやや重い。

29 **仲俣：**『フリー』はキンドルでも売れ  
30 ばいいんだよね。最初にどんな本が出  
31 て来るかによって、キンドルの印象が  
32 だいぶ変わる。出版社が頭を使って『  
33 フリー』のようなカードを切ってきた  
34 ら、「おおっ」と思う。橋本さんは、  
35 何でキンドル買わないの？

36 **橋本：**この6年間、毎年500冊の本  
37 を買い、300冊読んで、200冊ず  
38 つブログに書評を書いてきたんですけ  
39 ど、僕が本を読む時はいいと思うとこ  
40 ろに付箋をして、抜き書きするんです  
41 よ。もちろんパソコンを使いますけど  
42 。それがなくなると、書評も短絡的な  
43 コメントが多くなる。抜き書きは面倒  
44 だから、その本の中でいちばん重要な  
45 部分だけを選ぶようになる。

46 **仲俣：**コピペじゃダメだと。ケータイ  
47 もそうだけど、キンドルは本というよ  
48 り自動販売機なんですよ。「Buy  
49 Now」ボタンを押すと、何の確認も  
50 なしに電子本が送られて来ちゃう。こ  
51 こに本屋がある感じなんだよね。献本  
52 も届くんじゃないかと思って。

53 **橋本：**100社くらいから送られてく  
54 るんですよ。スパムみたいに。

55 **仲俣：**でも、邪魔にならないよ。橋本  
56 さんは、大量の本をどうしてるの？

57 **橋本**：ほとんど本棚に入っていないで  
58 す。でも、まだ捨ててない。

59 **沢辺**：新しい本を買ってもらうには、  
60 家庭から本を減らさないといけない。  
61 製造物責任法じゃないけど、出版社も  
62 本を引き取って最低限再生紙にする。  
63 僕は本を捨てることに抵抗がある。も  
64 っと上の世代になると「本をまたぐな  
65 伝説」っていうのもあるんだから。

66 **仲俣**：僕は本が部屋を2つ占拠してい  
67 て、何とかして減らしたい。

68 **橋本**：でも、ここに1500冊入って  
69 るのも問題ですよ。電車の中で1冊し  
70 かないから、それを読むしかない。1  
71 500冊入ってたら、最初から掴むよ  
72 うな本じゃないと、次に行っちゃう。

73 **沢辺**：そうか。いや、僕の電子デバイ  
74 ス体験で言うと、やっぱりiPhone  
75 eが衝撃的でした。ページをめくるの  
76 に、もう一方の手を使わなくていい。  
77 片手で読めるなと思って。新刊を紙と  
78 電子本で並売していこうと思ったのも  
79 、きっかけはiPhoneだった。そ  
80 れで、僕は最近物忘れがひどいから、  
81 いいなと思ったセリフを忘れちゃう。

82 **仲俣**：書き写してないからだよ。

83 **沢辺**：でもiPhoneに入ったら  
84 「宮部みゆきのここが」とか言えて  
85 いいと思ったけど、ザッピングの話を  
86 聞いて、その考えが崩れていく……。

87 **仲俣**：僕はそれでいいと思う。2年前  
88 に読みかけてた本は探せないけど、こ  
89 の中にあれば読むかもしれない。

90 **沢辺**：歯止めが利かなくなるかも。

91 **橋本**：ウェブがすでにそうってます

92 よね。僕の書評にしても、全部読んで  
93 る人はいないと思うんですけど。

94

95 【小見出し】

96 **低機能ゆえに紙の本と**  
97 **ハイブリッドな関係に**

98

99 【本文】

100 **橋本：**ハイパーリンクでもマルチメデ  
101 ィアでもいいんですけど、新しいメデ  
102 ィアなんだから、紙の移行ではない新  
103 しいコンテンツが出てこないの意味が  
104 ない。初期のゲーム業界のような感じ  
105 で、「ドラクエ」というものを発明し  
106 ないといけないのに、まだジャンルす  
107 ら出て来ていない気がする。

108 **沢辺：**僕はウェブでリンクを見ても、  
109 元のページに戻って最後まで読みたい  
110 ほう。自分では、辞書を引ながら本  
111 を読むのと同じだと思ってる。本のメ  
112 タファーはかなり完成されてるから、  
113 頭の中を整理するにはいい。パソコン  
114 は使っても、書き写すっていうのは昔  
115 の勉強法のメタファーなわけですよ。

116 **仲俣：**キンドルはオーソドックスな本  
117 の機能を備えてるよね。1週間放っ  
118 おいても、同じページでじーっと待っ  
119 てる。雑誌みたいなものなら、ある種  
120 のマルチメディア性が欲しくなるだろ  
121 うし。「Kindle for PC」と「Kindle  
122 for iPhone」も使ってみたんですよ。  
123 読書の履歴をサーバーで管理していて  
124 、どの端末でも最新のページを出して  
125 くれる。嫌な感じもするんだけど。そ  
126 こに紙の本が加わってもいいでしょ。

127 ある本の購読権を買ったら、紙でも電  
128 子本でも読めるというのがいいよね。

129 **橋本**：それはすばらしい。

130 **沢辺**：キンドルで読みたい人がいるの  
131 に、提供しないことには何の意味もな  
132 く、僕らはコンテンツを売っているん  
133 だから、できる限り要望にお応えして  
134 、多く売り上げを得ればいいと思う。  
135 好き嫌いは別として、キンドルも i P  
136 h o n e も十分に実用足りるという感  
137 じ。ここまで来たら、紙が100%置  
138 き換わることはなくても、あれもこれ  
139 もっていう中には入ってくると思う。

140 **仲俣**：ようやく受け止め口が出て来た  
141 んだから、電子本が出てほしい。芥川  
142 賞受賞作が決まった瞬間に電子本を出  
143 したら、みんな買うよね。商品企画も  
144 増える。紙で出すには少なくとも20  
145 00部くらいは刷らなきゃいけないけ  
146 ど、それ以下でも成立するんだから。

147 **沢辺**：今は興味感心がものすごく分散  
148 化しているんですが、1万部でも10  
149 00部でも著者や編集者の手間は同じ  
150 。少なくとも印刷という物理的な部分  
151 では、部数が増えると一部あたりの単  
152 価が下がって助かるので、みなさんの  
153 興味の細分化に対応するためには、電  
154 子化は不可避ではないかと思ってる。

155

156 【小見出し】

157 **印税率が紙と同じだと**

158 **著者がウェブに逃げる**

159

160 【本文】

161 **橋本**：僕は編集者と仕事をするのが大

162 好きなんですけど、出版社所属の編集  
163 者である必要はない。2～3人のチー  
164 ムでコンテンツをパブリッシュできる  
165 から、儲かると言うんですよ。出版業  
166 界の構造が出来上がっていて、印税は  
167 10%しかもらえない。それをできれば  
168 9割にしたい。コンテンツが大事と言  
169 うわりに、何十年も印税が固定されて  
170 る。1冊書いたら、1年くらいは暮ら  
171 していけるようにしてほしいんです。

172 **仲俣**：紙じゃなくていいから、25%っ  
173 ていうのはできないの？

174 **沢辺**：ムリでしょうね。カード決裁の  
175 手数料がかかって、電子取次やキャリ  
176 アの取り分もある。出版社の取り分は  
177 50～60%ですよ。紙なら65%。それ  
178 に、印税は固定ではありません。部数  
179 とのかけ算なんだから、いいものであ  
180 れば多く売れるというかたちで著者に  
181 還元される。「1冊書いたら1年」っ  
182 ていうのはわかるけど、誰にその資格  
183 を与えるの？ 僕は、売れてるってい  
184 うこと以外にないと思うんだよ。

185 **橋本**：たくさん売れたら、パーセン  
186 テージが上がっていかないとおかしい。

187 **沢辺**：それはわかる。

188 **仲俣**：出版社から本を出したいという  
189 人はたくさんいるけど、何か言いたけ  
190 れば書けばいい。その度にコンテンツ  
191 は発生していて、流通してる。経営を  
192 回したいがために本を出すという出版  
193 社が、電子本でも印税10%って言って  
194 たら、グーグルとか、もっと大きなシ  
195 ステムに乗ろうという人が出て来る。

196 **橋本**：テキストを書いてブログにアッ

197 プすれば、パブリッシュできるってこ  
198 となんです。紙の本は、編集者の力  
199 で付加価値が付くと思うんですけど。

200 **沢辺**：付加価値なんて図々しいことは  
201 やってないけど、締め切り守る、カネ  
202 に換えるってこと。

203 **橋本**：紙の本はコストの大半を出版社  
204 が担っているので著者は10%、電子本  
205 は著者が9割で、同時に出してほしい  
206 。書店営業はできないけど、電子本は  
207 著者の努力で売れると思うんです。

208 **沢辺**：僕は、著者のプロモーションが  
209 いちばん効くと思ってるんですよ。津  
210 田大介さんがツイッターでやっていた  
211 ようなアウトプットは、編集者がやる  
212 のと、本人がやるのとでは全然違う。

213 **仲俣**：それは津田さんだからできるこ  
214 とだと思うけど、これからの著者は奥  
215 さんに面倒見てもらわないと何もでき  
216 ないっていうんじゃなくて、橋本さん  
217 みたいに起業家精神が必要だよな。

218 **沢辺**：出版社不要論っていうのはわか  
219 るけど、普遍的なものではない。橋本  
220 さんのように1日1冊を自らに課し、  
221 締め切りを守り、黙っていても確定申  
222 告できる著者ばかりではないんですよ  
223 。フリーハグの本を書いた松沢呉一と  
224 いう著者は、締め切りを無視してY o  
225 u T u b eを48時間も見続けてた。僕  
226 には怖くてできないよ。だって、次の  
227 仕事のオファーが来なくなるかもしれ  
228 ないじゃない。でも、彼の書いた物は  
229 パワーを持ってる。

230 **仲俣**：いまは本の作り方がルーチン化  
231 して、著者をマネジメントする編集

232 者が減っちゃった。出版社から電子本  
233 が流れてくるのか、その下に溜まった  
234 奇妙なものが出てくるのか。両方流れ  
235 てこないと、つままないよね。

236

237

238 【仲俣氏プロフィールなど】

239 「ある本の購読権を買ったら、  
240 紙でも電子本でも読めるといい」



241

242 仲俣暁生 ●文芸評論家・編集者・「マガジン航」編集長・ブログ「海難記」著者  
243 '64年生まれ。「本とコンピュータ」編集長などを経て、'09年より  
244 出版の未来を考えるウェブマガジン「マガジン航」編集長。著書に  
245 『「鍵のかかった部屋」をいかに解体するか』（バジリコ）など。

246

247 【橋本氏プロフィールなど】

248 「電子本は著者の努力で  
249 売れると思うんですよ」





250

251 橋本大也 ●データセクション株式会社社長兼C I O・ブログ「情報考学」著者  
252 '70年生まれ。'00年、ITコンサルティング会社のデータセクショ  
253 ン設立。情報技術と書評のブログ「情報考学」は、'06年に書籍化  
254 （主婦と生活社）。その他、『情報力』（翔泳社）など著書多数。

255

256 【沢辺氏プロフィールなど】

257 「Kindleで読みたい人に

258 提供しないことに何の意味もない」



259

260

261

262

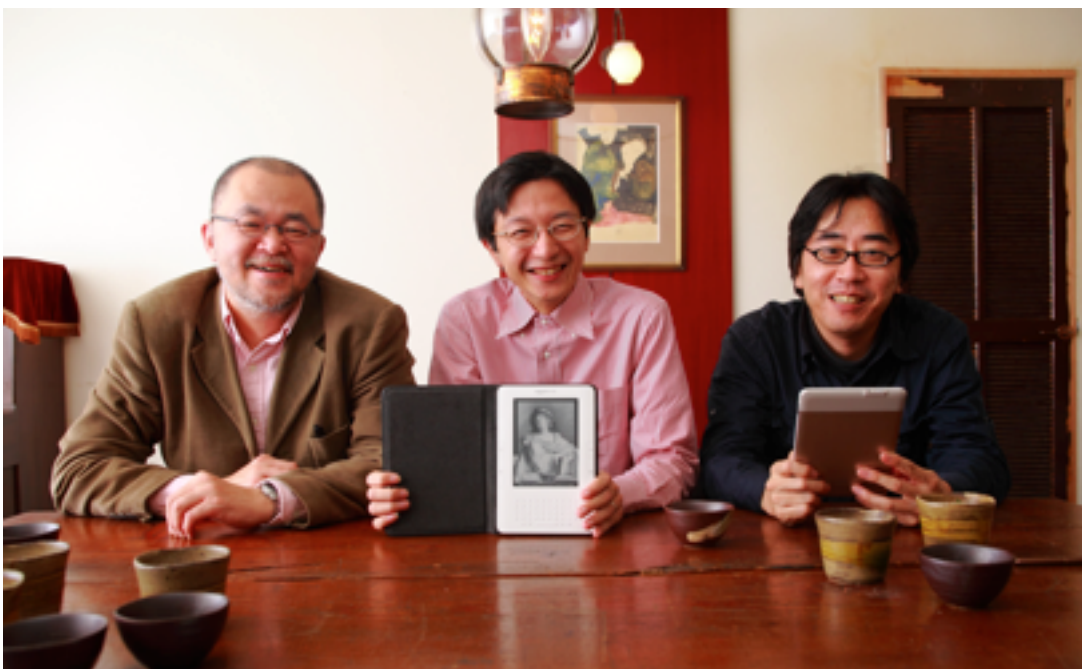
263

264

265

沢辺 均 ●有限会社ポット出版社長・版元ドットコムLLP幹事  
'56年生まれ。'95年、ポット出版を設立。出版社ネットワークの版  
元ドットコムLLP幹事として、'09年12月に電子出版のセミナー  
を開催。受付開始後、200席が即日満席となる盛況ぶりだった。

【かざり】



266